



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
コード番号 6495 URL <http://www.mivairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平綿孝之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5572

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,555	14.9	142	△3.3	136	△4.0	143	7.0
22年3月期第2四半期	2,223	△1.8	146	425.1	142	232.1	134	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.01	2.71
22年3月期第2四半期	2.81	2.53

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,086	2,938	41.5	61.48
22年3月期	6,961	2,816	40.5	58.93

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,938百万円 22年3月期 2,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	26.0	500	20.1	480	14.9	460	△6.0	9.62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	48,849,935株	22年3月期	48,849,935株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	1,047,627株	22年3月期	1,047,626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	47,802,308株	22年3月期2Q	47,802,377株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国などの新興国の経済成長に支えられた輸出の増加および政府の経済対策により一部で景気回復の傾向にあるものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費の低迷や構造的なデフレ、不安定な欧州を中心とした海外経済の減速懸念に起因する円高、株価の低迷など懸念材料もあり、依然として先行き不透明感が払拭されない状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、鉄鋼製弁類の売上が回復基調にあったことと、生産増加に伴う主要原材料である黄銅材の屑売上高が増加したことにより、当第2四半期累計期間における売上高は2,555百万円(前年同期比14.9%増)となりましたが、猛暑の影響もあり液化石油ガス容器用弁の販売計画に対し需要が伸び悩み、前年同期とおおむね同一に推移したことと、新規海外向け売上の寄与が遅れていることから売上計画に達しませんでした。

収益面につきましては、売上高が前年同期より増加したものの主要原材料である黄銅材の購入価格が前年同期と比較して上昇したことから収益性は悪化(売上利益率対前年同期比2.1ポイント下落)しました。また、新製品の開発費用、海外事業展開のための先行投資を行ったこと等により、販売費及び一般管理費が増加(前年同期比8.0%増)し、この結果、当第2四半期累計期間において営業利益は142百万円(前年同期比3.3%減)、経常利益は136百万円(前年同期比4.0%減)となり、特別利益に前期末に見積計上した賞与引当金の戻入額40百万円を、特別損失に工場設備の有姿除却22百万円を計上したことにより、四半期純利益は143百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、191百万円増加して3,642百万円となりました。これは主に、長期借入および割引手形の増加に伴う現金及び預金の増加142百万円、受取手形及び売掛金の減少361百万円ならびに容器弁増産によるたな卸資産の増加416百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、66百万円減少して3,444百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少26百万円および投資有価証券の減少34百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、125百万円増加して7,086百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、64百万円減少して1,337百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加10百万円、1年内償還予定の社債の減少30百万円および製品保証引当金の取崩しによる減少11百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、68百万円増加して2,809百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加115百万円および社債の減少40百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、3百万円増加して4,147百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、121百万円増加して2,938百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益により143百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の40.5%から41.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べて、130百万円増加し、861百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は115百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益149百万円を計上したこと、生産増加の伴うたな卸資産の増加416百万円および売上債権の減少203百万円ならびに割引手形の増加140百万円によるためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は40百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出37百万円によるためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は55百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入200百万円、社債の償還による支出70百万円および長期借入金の返済による支出74百万円により減少したためです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年5月14日発表の「平成22年3月期決算短信(非連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 繰延税金資産の算定方法

当第2四半期会計期間末の繰延税金資産の回収可能性に関しては、前事業年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益および税引前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252,608	1,110,307
受取手形及び売掛金	1,109,341	1,471,245
商品及び製品	840,705	543,567
仕掛品	70,355	63,982
原材料及び貯蔵品	418,196	304,807
その他	119,979	125,643
貸倒引当金	△169,038	△169,038
流動資産合計	3,642,149	3,450,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	136,612	161,504
構築物(純額)	32,400	34,908
機械及び装置(純額)	245,695	253,732
車両運搬具(純額)	1,814	852
工具、器具及び備品(純額)	32,196	21,653
土地	2,506,900	2,506,900
建設仮勘定	—	2,677
有形固定資産合計	2,955,619	2,982,228
無形固定資産		
電話加入権	2,810	2,810
その他	56,652	56,704
無形固定資産合計	59,462	59,514
投資その他の資産		
投資有価証券	137,725	171,980
長期貸付金	3,565,000	3,575,000
その他	266,825	299,167
貸倒引当金	△3,540,349	△3,577,055
投資その他の資産合計	429,200	469,092
固定資産合計	3,444,283	3,510,835
資産合計	7,086,432	6,961,351

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	717,512	725,941
1年内返済予定の長期借入金	149,588	139,508
1年内償還予定の社債	110,000	140,000
未払法人税等	13,916	17,737
賞与引当金	71,487	80,820
製品保証引当金	13,642	25,000
その他	261,800	273,875
流動負債合計	1,337,948	1,402,882
固定負債		
社債	60,000	100,000
新株予約権付社債	800,000	800,000
長期借入金	434,201	319,035
再評価に係る繰延税金負債	967,404	967,404
退職給付引当金	537,430	534,155
その他	10,756	20,881
固定負債合計	2,809,793	2,741,476
負債合計	4,147,741	4,144,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	3,507,423
資本剰余金	1,549,401	1,549,401
利益剰余金	△3,419,173	△3,563,034
自己株式	△157,210	△157,210
株主資本合計	1,480,440	1,336,579
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,143	29,305
土地再評価差額金	1,451,107	1,451,107
評価・換算差額等合計	1,458,250	1,480,413
純資産合計	2,938,691	2,816,992
負債純資産合計	7,086,432	6,961,351

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,223,480	2,555,065
売上原価	1,675,881	1,980,055
売上総利益	547,598	575,010
販売費及び一般管理費	400,716	432,917
営業利益	146,882	142,092
営業外収益		
受取利息	1,050	260
受取配当金	593	545
有価証券運用益	12,015	—
不動産賃借料	—	2,275
スクラップ売却益	—	2,718
その他	5,400	5,221
営業外収益合計	19,060	11,021
営業外費用		
支払利息	2,829	4,733
社債利息	1,567	956
手形売却損	7,550	7,713
デリバティブ評価損	5,334	—
訴訟関連費用	5,000	—
その他	1,177	2,952
営業外費用合計	23,459	16,355
経常利益	142,483	136,758
特別利益		
投資有価証券売却益	27,497	—
貸倒引当金戻入額	5,147	9,504
賞与引当金戻入額	—	40,409
特別利益合計	32,645	49,914
特別損失		
固定資産除却損	4,792	22,604
投資有価証券売却損	8	—
環境対策費	—	2,600
役員退職慰労金	29,812	11,616
特別損失合計	34,612	36,820
税引前四半期純利益	140,515	149,852
法人税、住民税及び事業税	6,011	5,990
法人税等合計	6,011	5,990
四半期純利益	134,504	143,861

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,158,084	1,171,463
売上原価	865,688	884,282
売上総利益	292,396	287,181
販売費及び一般管理費	207,439	212,952
営業利益	84,956	74,228
営業外収益		
受取利息	497	121
受取配当金	190	385
未払配当金除斥益	—	2,001
その他	1,880	3,728
営業外収益合計	2,568	6,237
営業外費用		
支払利息	1,346	2,296
社債利息	748	443
手形売却損	3,599	3,436
その他	—	2,387
営業外費用合計	5,694	8,562
経常利益	81,830	71,902
特別利益		
投資有価証券売却益	1,831	—
貸倒引当金戻入額	5,147	8,609
賞与引当金戻入額	—	40,409
特別利益合計	6,978	49,019
特別損失		
固定資産除却損	4,792	22,604
投資有価証券売却損	8	—
特別損失合計	4,800	22,604
税引前四半期純利益	84,008	98,318
法人税、住民税及び事業税	3,005	2,995
法人税等合計	3,005	2,995
四半期純利益	81,003	95,322

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	140,515	149,852
減価償却費	53,810	54,507
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,388	△36,705
賞与引当金の増減額(△は減少)	201	△9,332
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,230	3,275
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△11,357
受取利息及び受取配当金	△1,643	△805
支払利息	4,396	5,689
有価証券運用損益(△は益)	△12,015	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△27,489	—
固定資産除却損	4,792	22,604
売上債権の増減額(△は増加)	129,887	203,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,644	△416,900
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,076	△8,429
未払消費税等の増減額(△は減少)	159	△26,955
割引手形の増減額(△は減少)	19,468	140,364
その他	8,868	64,048
小計	348,677	132,934
利息及び配当金の受取額	1,458	707
利息の支払額	△4,411	△5,984
法人税等の支払額	△11,982	△12,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,742	115,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	19,134	—
有形固定資産の取得による支出	△50,651	△37,253
無形固定資産の取得による支出	△8,824	△1,079
投資有価証券の取得による支出	△210	△211
投資有価証券の売却による収入	122,002	—
貸付金の回収による収入	10,000	10,000
定期預金の増減額(△は増加)	△42,014	△12,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,434	△40,550
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△57,180	△74,754
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△3	△0
自己新株予約権の取得による支出	△16,000	—
配当金の支払額	△1,859	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,043	55,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	238,133	130,296
現金及び現金同等物の期首残高	96,680	731,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	334,814	861,374

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,359,970	44.9
LPG用弁類・機器	971,260	12.7
その他弁類・機器	144,548	87.0
その他	6,297	54.5
合計	2,482,076	31.9

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,054,351	6.3	76,472	335.5
LPG用弁類・機器	879,417	△0.5	346,862	7.5
その他弁類・機器	157,438	58.6	114,249	28.2
その他	166,001	124.5	81,420	515.3
合計	2,257,208	10.2	619,004	39.9
(うち輸出高)	178,940	271.4	131,697	206.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品種類等	販売実績(千円)	前年同四半期比(%)
容器用弁	1,023,619	5.6
LPG用弁類・機器	922,204	2.7
その他弁類・機器	149,610	88.8
その他	87,921	36.0
屑売上高	371,709	74.6
合計	2,555,065	14.9
(うち輸出高)	121,094	215.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。